

国際ロータリークラブ第2730地区



日南ロータリークラブ

UNITE
FOR
GOOD

~NICHINAN ROTARY CLUB since 1954 ~

よいごとのために手を取りあおう

2025-26年度クラブスローガン「臥薪嘗胆」

WEEKLY REPORT NO.20

| | | | |
|------------|-------------|--------------------|-------------------------|
| 第 3447回 例会 | | 開催日：2025年12月10日（水） | 点鐘18:30 |
| 国歌 | | 会員数 | 33 MU 4 |
| ロータリーソング | 我ら日本のロータリアン | 出席免除 | 9(4) 欠席 3 |
| 4つのテスト | 土屋昭次君 | HC出席 | 22 出席 26 |
| ゲスト | | 出席率 | 89.65% 先取MU 菊池、西田、峰松、村社 |
| ビジター | | 出席免除 | 落丸、清水、渡邊、小玉 |
| 例会行事 | 年次総会 | 欠席者 | 竹井(克)、富満、豊田 |

会長時間（斎藤篤史会長）

今日は、少し哲学的で、そしてどこか心に残るテーマを選びました。「逃げて怒られるのは、人間ぐらい。」この言葉を聞いてどう思いますか？実はこの言葉を知ったのは、ある俳優が動画で話していたワンシーンがきっかけでした。その方はその動画の中で、新聞に掲載されていた小学生の作文を読んだときのことを話していました。「逃げて怒られるのは人間くらい。他の生き物たちは、本能で逃げないと生きていけないのに、どうして人は逃げちゃいけないってそんな答えにたどり着いたんだろう」その文を読んで、彼自身すごく考えさせられたとおっしゃっていました。私もこの話を知ったとき、胸をつかまれました。小学生が、こんなに人間の本質を突くことを書くのかと思いこの言葉を会長時間のテーマにしようと思いました。動物の世界は、極めてシンプルです。逃げた者が生き残る。鹿は危険を察知した瞬間に跳ねて逃げます。鳥は影が差しただけで飛び立ちます。カニも虫も、危険が迫るとすぐに退避します。逃げることは“最も合理的で、生きるための正しい選択”。逃げたからといって、誰にも怒られない。逃げることを、恥だと言う動物もいません。逃げる=生き延びるための本能。しかし彼らも、逃げないときがある。それは——自分以外の誰かを守るときです。・親鳥は巣を守るために天敵に立ち向かう・シマウマは群れの子どもを囲んで守る・イルカは仲間を助けようとサメに突進する・犬は飼い主を守るために吠え、前に立つ“自分の命より、大切な命がそこにある”と感じたとき、動物は逃げません。ただ、それは“特別なときだけ”です。動物にとって“逃げない”とは、それほど覚悟のいる行動なのです。ここが本日の核心です。動物は逃げても怒られません。しか

し人間は逃げると、怒られたり、責任を問われたりする。つまり人間は、逃げるか逃げないかを“自分で選べる”生き物だからです。だからこそ、逃げたときに責任が生まれる。そして、逃げないことに意味が生まれる。では、人間はこれから逃げたくなるのでしょうか。人間の心理的には次の4つです。①責任から逃げたい仕事の責任、家庭の責任、地域や役割の責任責任は重く、時にしんどい。だから逃げたくなる。②変化から逃げたい年齢を重ねるほど、変化は億劫になります。・デジタル化・価値観の違い・世代のギャップ・新しい仕事変化から逃げれば、未来は縮んでいく。③過去から逃げたい・失敗・後悔・恥・見たくない記憶。しかし、過去にフタをしていては前に進めません。④感情から逃げたい・怒り・不安・孤独・嫉妬・自己否定人間は複雑な感情を抱える生き物です。向き合うのにエネルギーが必要だから、逃げたくなる。ここで大切なポイントがあります。逃げない=戦い続けることではありません。逃げない行為の本質は「自分と向き合う」こと。・弱さ・見栄・怠惰・プライド・先延ばし・不安・言い訳これら“内なる敵”と静かに向き合うことが逃げないという行為なのです。これは最も静かで、最も孤独で、最も成長できる時間。皆さんの人生を振り返ると、こんな場面があると思います。・役職を引き受けたとき・家族の問題に向き合ったとき・嫌な仕事を避けずにやり遂げたとき・失敗の後に立ち上がったとき・新しい挑戦を決断したとき・自分の弱さを認めたときこれらはすべて「逃げなかつた瞬間」です。逃げるのは楽。しかし逃げなかつた経験は、人生の柱になります。人は、逃げない人を尊敬します。その姿勢は言葉以上に力があります。「あ、この人は覚悟している」「あの人は言い訳しない」そんな人の周りには、自然と信頼が集まるのです。●逃げるべきもの・暴力・支配・心を壊す環境・危険な関係・不当な圧力これらは“逃げる勇気”が必要です。●逃げてはいけないもの・自分の弱さ・責任・挑戦・努力・ごまかし・本音・人との約束・学びここから逃げると、人生は少しずつ濁っていきます。心理学では、人の心には「逃げたい自分」と「逃げたくない自分」の二人がいると言われています。逃げたい自分は、こう言う。「今日はやめておこう」「失敗したらどうする」「何もしないほうが楽だよ」逃げたくない自分は、こう言う。「向き合うべきだ」「ここを乗り越えたら変われる」「未来のためにやろう」問題は、どちらの声に耳を傾けるか。逃げたくない自分の声を拾えるかどうかで、人生の質は大きく変わります。最後に、今日のテーマである「逃げて怒られるのは、人間くらい。」について、私なりの想いをお伝えして締めくくりたいと思います。人間が逃げたくなる瞬間は、誰にでもあります。責任から、変化から、そして自分の弱さから。心が揺らぎ、「今日は無理かもしない」と感じる日は、誰しもきっとある。しかし、人が成長する瞬間というのは、いつだって“少しだけ逃げなかつた日”なのだと思います。逃げずに、小さな一步を踏み出した日。ほんの少し勇気を持って、自分と向き合った日。その積み重ねが、私たちの人生を静かに、しかし確実に変えていく。そして私は、ロータリーという場所は、まさに「逃げないことの尊

さ」を互いに認め合い、支え合える場所だと思っています。ロータリーの活動は、決して派手ではありません。しかし、誰かのために時間を使うこと、役割を引き受けること、地域の未来に向き合うこと、どれも“逃げずに選んだ一歩”から始まります。ロータリーの「奉仕」は、強い人だけができるものではありません。弱さも抱えたまま、それでも一歩を踏み出した人の積み重ねによって生まれます。逃げたい日もある。悩む日もある。それでも、誰かのために、地域のために、ほんの少し勇気を出す。その“逃げない姿勢”こそが、ロータリーの根っこにある精神だと、私は思うのです。私たちは完璧ではありません。しかし、逃げたいときこそ逃げずに踏みとどまる人間でありたい。そして、そういう背中は、必ず誰かを勇気づけます。皆さんがこれから迎える日々の中で、もし「逃げたい」と感じる瞬間があったとしても、今日のこの話を、少しだけ思い出してくださいたら嬉しく思います。私たちはひとりではありません。どうか互いに、逃げない姿勢を讃え合い、支え合いながら、これからも一歩一歩、前へ進んでいきましょう。

幹事報告（石灘寛樹幹事代理）

1. 鹿児島県東部Gインターミーティング開催のご案内が届いております。
2. 宮崎中央RCより創立40周年記念式典・祝賀会のご案内が届いております。

スマイル

なし

年次総会

- ・定足数条件を満たしており総会成立
 - ・議長選出→斎藤会長
 - ・審議事項 第1号議案 会長ノミニ一選挙の件・・・全員一致で承認
第2号議案 次年度の役員及び理事の選挙の件・・・全員一致で承認
- [2026-27年度役員・理事]
- 会長：菊池希樹君、直前会長：斎藤篤史君、副会長：榎木田大資君、幹事：西島元利君
会計：富満正哉君、会長ノミニ一：西島元利君、理事：井野畑善順君、竹井崇利君、
豊田裕康君、石灘寛樹君、斎藤奈々君
- ・報告事項 2024-25年度 会計報告及び監査報告



| | |
|-------------|---|
| 日南RC事務局 | 〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten堀川ビル2階 創客創人センター内 TEL : 0987-22-3363 FAX : 0987-22-3515 |
| 2025-2026年度 | 会長：斎藤篤史 副会長：入中英雄 幹事：菊池希樹 雑誌広報委員長：西島元利 例会：毎週水曜日 12:45~13:30 会場：ホテルシーズン日南 (TEL : 0987-22-5151) |

※例会内でお話いただいた内容の原稿は soumu-nishijima@aisenkai-nichinan.jp まで送信ください。